

計算科学技術研究部会（仮称）

インフォーマルミーティング

福山 淳

これまでの活動
プログラム

部会設立の経緯

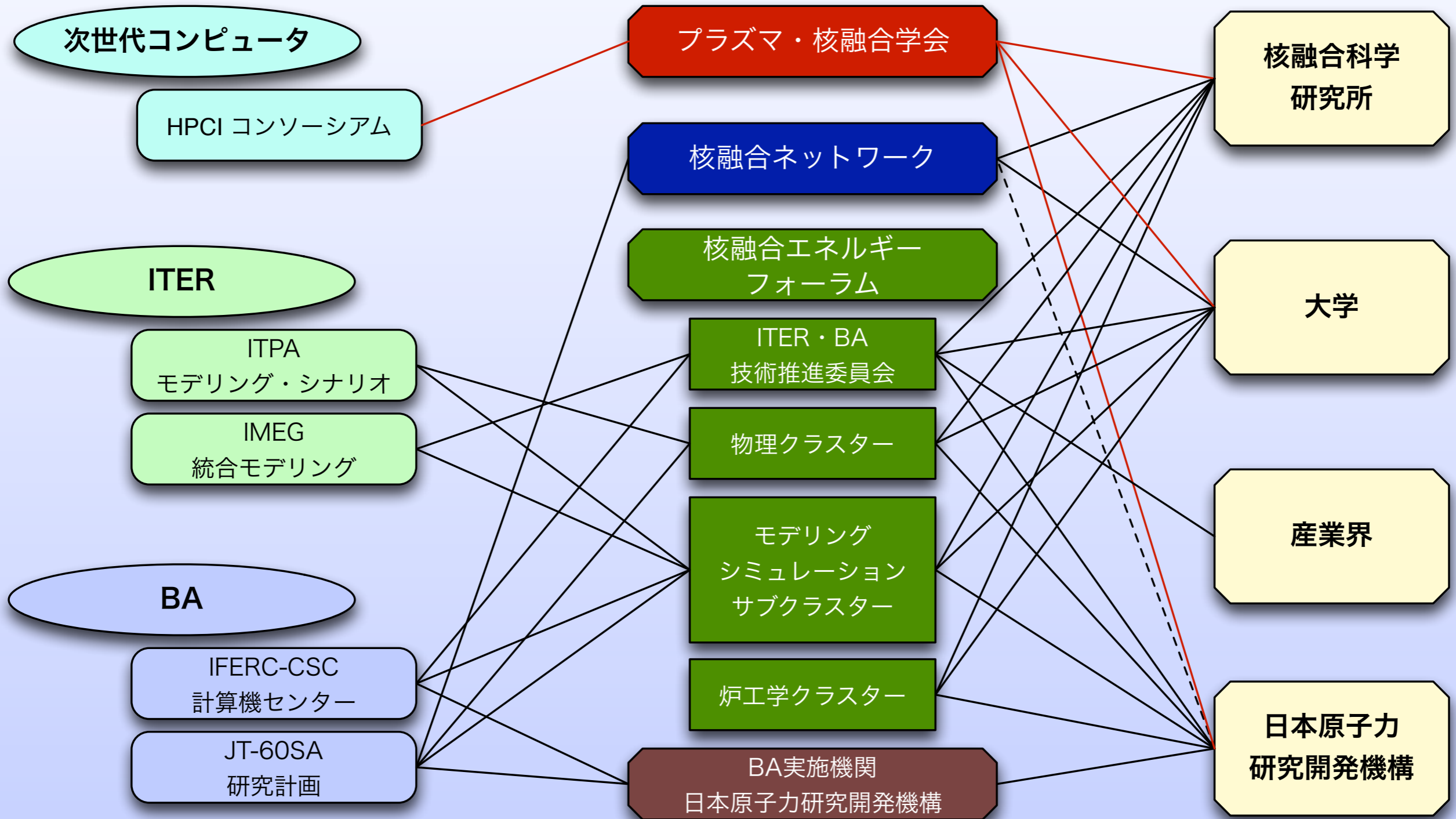
* 直接の経緯

- ▶ HPCI コンソーシアム参加のためのユーザーコミュニティ構築

* 戦略的目的

- ▶ プラズマ・核融合研究における計算機シミュレーション分野のプレゼンス向上
- ▶ 分野内の情報交換, 研究協力, 人材育成
- ▶ 他の計算科学分野との連携

計算機・シミュレーション分野の活動



プログラム

1. はじめに	福山	19:00-19:05
2. 低温プラズマ関係活動報告	浜口	19:05-19:20
3. 光量子関係活動報告	長友	19:20-19:35
4. 磁場核融合関係活動報告	矢木	19:35-19:55
5. HPCIコンソーシアム報告	堀内	19:55-20:05
6. 研究部会運用内規・規約案	福山	20:05-20:15
7. 今後の進め方について	討論	20:15-20:30

Discussion 1

* 基礎 / 低温プラズマ

- ▶ 化学反応も第一原理から計算できないのか
 - 市販のソフトを利用して計算可能になってきている。
- ▶ 海外はどうか？
 - 海外も同じ。大きなプロジェクトはない

* 光量子関係

- ▶ 利用している計算機は？
 - ベクトル機を利用する人は阪大のメディアセンター。その他、センターの小型ベクトル機やクラスター
- ▶ 阪大では計算関係の技術職員を採用しているのか？
 - 技術職員は1名、外部に委託2名、学生向け HPC 解説資料の作成も

Discussion 2

* 磁気核融合関係

- ▶ CSCのStCによる課題評価について質疑があった。

* HPCI コンソーシアム報告

- ▶ 海外の共同研究者の利用は可能か？
 - 検討が始まっている。
- ▶ 一般利用でも10PFの利用は可能か？
 - 現在の所未定

* 内規・規約関係

- ▶ 理事会での内規についての議論に合わせて検討を進める。

* その他

- ▶ 関連情報として、科研分科細目に「計算科学」に新設されるという情報がある。